

看護学研究科（修士課程）履修モデル

1. 高度看護実践者育成のための履修モデル

実践看護学分野		論文コース（老年看護学）							
<p><履修科目></p> <p>共通科目では、必修の4科目に加えて、高齢者に対する配慮のあり方を探求する「看護倫理」、高齢者の行動変容を図れる「行動理論」を、また、多彩で複雑な健康問題をもつ高齢者の支援システムや政策、看護管理のあり方を探求するための「看護管理・政策論」を選択する。</p> <p>専門科目では、「老年看護学特論」に加えて、「看護管理学特論Ⅱ(医療安全)」を選択し安全安楽なケア提供の基盤としての人的エラーの現況と対応について学ぶ。また、「リエゾン精神看護」を選択し、手術や集中治療等を要する高齢者のメンタル面のサポートのあり方について学ぶ。「実践看護学演習Ⅰ」、「実践看護学演習Ⅱ」では、高度な看護活動提供のためのアセスメント力や判断力を身につけるためのコースを選択し、文献講読や討論を通して自らの研究テーマの焦点化を行い「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」の実施につなげる。</p>									
科目区分	研究分野	授業科目	単位			授業を行う年次と単位配分			
			必修	選択	自由	1年次		2年次	
						前期	後期	前期	後期
共通科目		保健医療福祉特論	1			1			
		保健統計学	2			2			
		看護研究Ⅰ（概論）	2			2			
		看護研究Ⅱ（量的・質的研究）	2				2		
		看護管理・政策論		2		2			
		看護倫理		1			1		
		行動理論		2			2		
専門科目	基盤・機能看護学	看護管理学特論Ⅱ(医療安全)		1		1			
	実践看護学	老年看護学特論		2		2			
		リエゾン精神看護		1		1			
		実践看護学演習Ⅰ		4		(2)	(2)		
		実践看護学演習Ⅱ		4		(2)	(2)		
科目研究		特別研究Ⅰ	2			(1)	(1)		
		特別研究Ⅱ	4					(2)	(2)
小計			13	17		16	10	2	2
計			30単位						
修了後の進路		<p>高齢社会においては、多くの医療機関において高度かつ集中治療を要する老年患者が急増している。こうした高齢者の看護を支援できる人材として、高度看護実践者としての活躍が期待できる。</p>							